

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		学校行事・部活動等運営支援事業費〔鑑賞教室事業〕									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導日	事業番号	14
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導		課		指導		係		課長名	佐藤 洋士	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内小中学校の児童生徒				→		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 児童・生徒数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 音楽、演劇等の文化活動を通じて、児童生徒の芸術に対する理解を深め、豊かな感性を育てることを目的に実施する。				→		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 参加児童・生徒数				
	③ そのために何をしましたか。 学校ごとに当該年度教育課程等を考慮し、実情に応じて演目を選定し、楽団、劇団等との委託契約に基づき実施している。				→		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 実施校数				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,612	6,562	6,556					
	成果指標	②の数値	人	6,612.0	6,562.0	5,399.0					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
3 経費	活動指標		③の数値	校	15	15	12				
	事業費(実績)		円	6,438,000	3,244,272	1,926,112	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	6,438,000	3,244,272	1,926,112					
		特定財源	円								
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02					
		所要人数(再任用)	人								
	職員人件費(再任用以外)		円	165,060	164,880	166,200					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	6,603,060	3,409,152	2,092,312						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化		平成30年度より、小学校の鑑賞教室について、(財)舞台芸術センター及び劇団四季が主催する「こころの劇場」を活用しており、予算を抑えることができた。								

事業名称	学校行事・部活動等運営支援事業費〔鑑賞教室事業〕			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 佐藤洋士

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ

☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

近隣自治体の実施状況や、財政状況を鑑みて事業規模を検討している。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

予算の範囲内で実施できる内容、劇団等が限られてしまう。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

令和2年度より、中学校の芸術鑑賞教室を廃止。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 学校教育の充実

☐ なっている

☒ 環境の変化等により成果が減少している

☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

令和2年度より、中学校の芸術鑑賞教室を廃止。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等